

G7 広島サミットに向けた世界人口開発議員会議 (GCPPD) 2023 大臣開会挨拶

冒頭発言

- 本日、アジア人口・開発協会 (APDA)、人口と開発に関するアジア議員フォーラム (AFPPD)、そして国際人口問題議員懇談会 (JPFP) の主催のもと、「G7 広島サミットに向けた世界人口開発議員会議 2023」が開催されることに、心からお祝い申し上げます。

持続可能な開発と人口

- 人口問題は、世界の全ての国々に共通の課題です。人間の活動が地球環境に大きな影響を及ぼすようになった人新世^{ひとしんせい}において、気候変動や新型コロナを含む感染症の拡大など、国境を越える地球規模課題が深刻化しています。
- 国連開発計画 (UNDP) が昨年発表した報告書で強調されたように、地球規模課題を解決するためには、人間の安全保障の理念に基づき、一国のみではなく各国が連帯の精神をもって協調することが不可欠です。

日本の果たす役割

- 日本は戦後、人口増加や貧困という課題を主に保健推進政策や雇用政策によって乗り越えながら経済成長を達成しました。これは、人口増加の課題を、一人ひとりの生活の質を向上させることにより解決を図ったということです。具体的には、地域レベルでの保健師による家族計画の普及、地域健康増進活動による健康な労働力の創出、失業対策等の政策であり、これらの政策は我が国の社会や経済の成長の基盤となっています。当時、欧米以外ではじめて人口転換をなしとげた国として、アジア・アフリカの人口問題に強い影響があったと言われています。
- 近年では、我が国では少子高齢化が欧米諸国に比べても急激に進行しています。そのため、高齢化については健康寿命の更なる延伸、少子化については結婚、妊娠・出産、子育て支援等に取り組んでいます。

- 日本は、このような自らの経験や教訓を、これからも各国に対して積極的に共有し、課題解決に貢献していきます。この日本の姿勢は今に始まったことではありません。人口問題に対するコミットメントには、長い歴史があります。

人口・開発に関する議員活動

- 本日の会議を主催する「国際人口問題議員懇談会（JPFP）」が設立されたのは1974年です。私も幹事を務めています。日本は戦後復興を果たし、急激な経済成長を実現しましたが、限られた地球環境の中で人類が生きていくためにはどのようにしたらよいか、つまりいかにして持続可能な開発を達成するかという日本だからこそ強い危機意識がありました。JPFPはその危機意識の中から生まれました。
- JPFPは、日本の戦後復興の経験を共有することで世界的な人口と貧困、保健の課題に対処してきました。目を大きく世界に見開いて先行きの長い人口問題に取り組むという、まさに各国との連帯の精神が、我が国の国会議員から発揮されたものです。
- 1982年にはアジア人口開発協会及び人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）が設立され、アジア地域の人口と開発に関する行政と立法との連携を促進し、各国の法整備や予算措置を後押ししてきました。現在では、この活動は世界中に広がり、世界すべての地域には人口と開発に関する地域議連、多くの国には超党派の議員グループが設立され、活発な活動が続けられています。日本政府は、国際家族計画連盟（IPPF）と国連人口基金（UNFPA）への拠出を通じて、人口問題への取組を後押ししています。

議員ネットワークへの日本信託基金（JTF）の貢献

- 各国のリーダーたる国会議員による貢献は、あらゆる社会・開発問題と密接に関係する人口問題の解決において必須の要素です。日本政府としてもこの活動を支援してきました。例えば、2003年に国連人口基金（UNFPA）に日本信託基金（Japan Trust Fund : JTF）を設置しました。日本信託基金への拠出を通じ、世界各国の人口と開発問題に関する議員グループの議論、各国の人口事情視察団の派遣、人口と開発に関する国際会議の活発化につながることを期待します。

- この JTF を通じて行われる事業は、各国・地域の人口特性を反映したものとなっています。例えばアジア地域における活動では、進展する高齢化問題と、健全な社会を維持する上で不可欠となる出生転換の問題が中心です。アフリカ地域では、国民に向けた透明性、説明責任、グッドガバナンスの実現と、望まない妊娠をなくすこと、さらには、増加する人口を扶養するために不可欠な食料安全保障の問題、アラブ地域では若者人口の増加と教育・雇用など、地域の抱える課題に対応した事業を実施しています。
- さらにこれらの会議に参加した議員の方々の手によって、数多くの人口関係の立法がなされたと承知しています。カザフスタンの税制改革、キルギスタンの水資源立法、ケニアの憲法改正、ウガンダとザンビアにおける ODA の国会報告の立法化など、大きな成果があがっていることを嬉しく思います。日本政府としても、引き続き支援を行っていきたいと思います。

結語

- 各国国民の代表である国会議員が参集し、活発に議論を行うことは、持続可能な開発目標（SDGs）を達成するための国際的な協力体制を構築する上で極めて重要です。
- G7 広島サミットを控えたこのタイミングで、活発なご議論をしていただき、人口と開発の問題への国際的な取り組みの機運を一層高めていただくことを心から祈念いたします。
- 御清聴ありがとうございました。